

生徒が、現実社会における諸課題に関わる主題に対して自分の考えをもち、表現していくためには、知識を授業者が提供するだけでなく、生徒自身が社会との関わりを意識して、多面的・多角的に考察する学習活動が不可欠である。ここでは、単元の前半で学習した知識について、思考ツールやICTを活用したグループワークを通じて、生徒一人一人の考えを深めていった実践を紹介する。

POINT 1 思考ツール

「知る」を「自分なりの理解」に深める

思考ツールを活用し、「日本の安全保障の現在地」を可視化して話し合う

国際社会における平和の維持に向けた我が国の役割について考える学習過程で、それまでの学習で得た知識を基に、我が国の安全保障と防衛に係る取組を自分なりに評価する活動を行い、その際に、思考ツール（十字チャート）を活用した。自分の考えが可視化されることで思考の整理が促されることに加え、グループワークにおいても、共通の評価軸に基づいて議論ができるため、自分と異なる視点・考えに気がつきやすく、多面的・多角的に考察を深めていくことにつながった。

【学習の流れ】

- ①領土（領海、領空を含む。）、我が国の安全保障と防衛についての知識理解
 - ・学習内容に関する現状や問題、日本の取組などについて理解できるよう、丁寧に解説をしていく。
- ②①で学習した内容について、各取組等の関係性、つながりを整理
 - ・グループワークで、学習してきたことを十字チャートで整理し、自分なりに評価する。
- ③国際社会における平和の維持に向けた我が国の役割について、自分の考えをまとめる
 - ・国際社会において、今後日本はどのような役割を担うべきか、自分の考えを表現させる。

思考ツールの活用で視覚的に整理！

【思考ツール（十字チャート）の概略】

これまで学習してきた内容をキーワードとした。縦軸は「国内／国外」に対する取組、横軸は「武力の容認／否定」の取組という、二軸の評価軸を設定した。グループワークで、キーワードをマッピングして整理させることで、自分の考えについて「なぜ、その位置に置くのか」を言語化して説明する必然を生じさせ、生徒一人一人の思考を深めさせた。



生徒の考察の例

実践者に聞く！エピソード紹介

●「感想」にとどまらず、「考え」に深める

ポイントは、「考えを可視化しながらグループで話し合う活動場面を設け、話し合った内容を踏まえて、自分の考えをまとめさせる」という学習の流れです。知識として知り、わかったつもりになっていたことも、グループワークで意見を交わすことで、多様な視点があること、多様な立場・意見があることに気づくことができ、一人一人の理解がさらに深まります。単元の最後には、このグループワークで整理したことを根拠に説得力のある考えを述べている生徒が多く見られました。

POINT 2 思考ツール×ICTの相乗効果

ICTの「C」…「Communication」機能をグループワークに活かす

ICTを活用して、思考したり、議論したりする学習活動の充実を図る

生徒たちのグループワークやそれを踏まえた各自の思考の整理に係る学習の充実を図るため、ICTを積極的に活用した。

【ICTを活用することで得られる効果】

表現

キーワードを評価軸に配置し、自分の考えを表現する作業が容易になる

再構築

話し合いを踏まえたキーワードの配置の見直しなど、考えを再構築する作業が容易になる

共有

- ・グループワークにおいて、思考の途中経過の共有が可能になる
- ・他グループのチャートを含め、クラス全体での共有・比較が容易になる

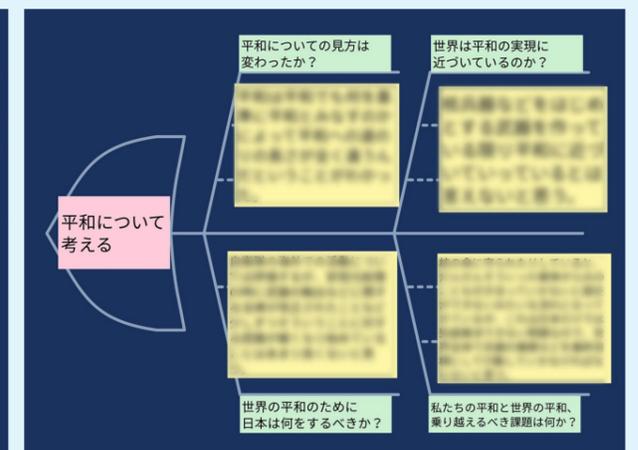
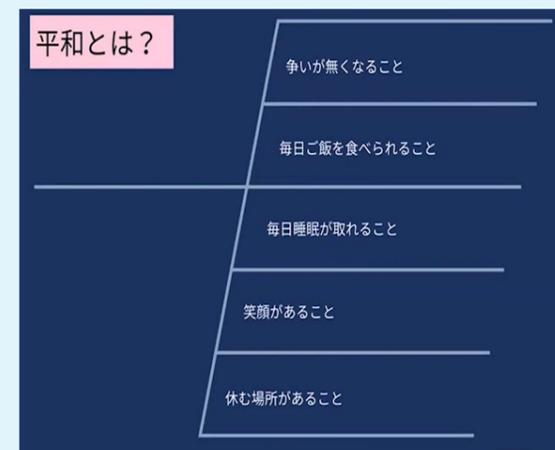
保存

各グループのチャートが保存され共有されていることで、ふりかえりの際など、いつでも各自で閲覧が可能になる

実践者に聞く！エピソード紹介

●「公共」の授業だからこそ、ICTを活用して多様な意見に気づく学習活動を

現実社会の問題について考える際に重要になるのは、意見の相違に気づき、それを乗り越えて合意形成に向かう力だと思っています。ICTを活用してグループワークを行うことで、各自の作業やその共有が円滑にできるようになり、その分、話し合いに時間を割くことができます。過去の実践では、「平和」に対する自分の考えを多面的に表現できるよう思考ツールを活用したり（下掲左）、学習のまとめとして平和に対する自分の考えをまとめる際に、4つの視点から考えを述べるような思考ツールを活用したこともあります。（下掲右）



単元計画

『平和に向けた日本の取組について、あなたは どう評価するか？』

■単元の目標

【知識及び技能】

国家主権、領土（領海、領空を含む。）、我が国の安全保障と防衛に関わる現実社会の事柄や課題について知り、国際平和の維持と安定のために、広い視野に立った継続的な努力が必要であることを理解する。

【思考力、判断力、表現力等】

我が国の安全保障と防衛や国際平和に関わる現代の諸課題について、政治の側面を関連させ、国際的な合意形成や日本の役割を視野に入れながら、解決に向けて多面的・多角的に考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。

【学びに向かう力、人間性等】

よりよい国際社会の実現を視野に、国際社会における諸問題に対して主体的に追究・解決しようとする態度を養うとともに、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

■単元計画

単元を貫く問いとして、『平和に向けた日本の取組について、あなたはどう評価するか？』を設定。単元の前半で、我が国の安全保障と防衛の様々な施策について理解したことについて、思考ツールを活用しながら理解や考えを深めていき、単元の終末で、国際社会の平和のために、日本の取組はどうあるべきか、自分なりの考えをまとめ、表現していく。

単元の終盤で活用する十字チャートの練習も兼ね、「平和だと思う」「平和だとは言えない」の横一本軸のチャートを使い、自分の考えを「位置」で表す活動に取り組む。活動に際しては、自分の考えに対する根拠をもつこと、及び、多様な立場や考え方に触れることの重要性を捉えさせる。

近年の紛争・平和についての事象を、写真・エピソードで、歴史的な流れで解説する。生徒がニュース等で見聞きしている事象について、その前後で社会がどのように変わったのかを理解できるように説明していく。

これまで学習してきたことを、グループでチャートを使って整理させ、単元の最後に向け、各自の考えの構築につなげる。

これまでの学習を踏まえ、国際平和の維持と安定のため、日本はどのような取組をしていくべきか、政策提言の形で自分の考えをまとめ、表現させる。

時数	学習内容
5	<p>●単元を貫く問いの提示 『国際社会の平和に向けた日本の取組について、あなたはどう評価するか？』</p> <p>①現在の日本は、平和だと思うか？ ・日本国憲法の平和主義 ・国家主権と国際法 ・領土（領海、領空を含む。） 固有の領土竹島、北方領土、尖閣諸島 ・拉致問題</p> <p>②自衛隊が海外で活動する必要性は？ ・我が国の防衛に関する基本的な事柄 ・日本と海外との関わり ・安全保障と自衛隊 ※国際社会の平和と安定の維持のために自衛隊が果たす役割</p> <p>③なぜ紛争や争いは無くならないのか？ ・21世紀の世界情勢（テロや難民） ※国家を中心とする安全保障では対処しきれない事項 ・軍縮問題、核兵器 ・病気や貧困、環境破壊など世界的な視野に立った問題</p> <p>④国際社会の平和に向けた日本の取組について、あなたはどう評価するか？ ・これまでの学習のふりかえりと理解深化 ※十字チャート（二軸の評価軸）を活用</p> <p>⑤あなたは、国際社会の平和のために、これからの日本の取組はどうあるべきだと考えるか？ ・これまでの学習を踏まえた、政策提言</p>

本時の授業展開

単元の前半で学習した知識を、思考ツール（十字チャート）を活用し、グループワークで整理することを通して捉え直し、自分なりの考えの形成につなげた。

■本時のねらい

・我が国の安全保障と防衛に関わる様々な施策が、日本および国際社会でどのような意味をもつのかを理解し、国際平和の維持と安定のための日本の取組について、自分の考えを明らかにする。

■本時の展開

(50分)

過程	学習内容	指導上の留意点
導入 5分	<p>○日本は平和のために、どんな取組をしてきたのだろうか？</p> <p>・単元におけるこれまでの学習をふりかえる。</p>	<p>・ここでのふりかえりで生徒から出てきた取組を、十字チャートのキーワードとする。</p>
展開 ① 25分	<p>【グループワーク】★十字チャート</p> <p>①これらの平和に対する取組は、どのような特徴があったのだろうか？</p> <p>・時事的な社会情勢を提示し、「平和は誰もが願うものであり、これまでの取組について、目的やその特徴を評価しよう」とワークを導入する。</p> <p>・グループで検討しながら、これまで学習してきた取組（キーワード）を十字チャートを使ってマッピングする。</p> <p>・なぜ、その配置にしたのか、グループで説明できるよう準備する。</p> <p>②共有</p> <p>・全体共有をする。</p>	<p>・十字チャートの縦軸は、「国内/国外」に対する取組、横軸は「武力の容認/否定」の取組という、二軸の評価軸を設定。</p> <p>・各グループの発表を聞いて、自分たちが気づかなかったことなどをメモさせる。</p>
展開 ② 15分	<p>自分なりの評価</p> <p>●日本の平和に対する取組についてのあなたの考えは？</p> <p>・グループでの検討や、全体共有を参考に、自分の考えを明らかにして、記述する。</p>	<p>・十字チャートの二軸（国内/国外、武力の容認/否定）について、自分の考えを明らかにさせる。</p>
まとめ 5分	<p>○授業の内容のふりかえり</p> <p>・各自が考えた「日本の平和に対する取組についての考え」を共有し、気づいたこと、考えたことを記述する。</p>	<p>・グループワークを踏まえ、改めて自分の考えをまとめさせる。</p>

チャート上の正しい位置へのマッピングを考える、というワークになってしまわないように、「なぜ、そこに配置するのか、理由を確認しよう」と声をかけ、根拠をもって説明することを意識させた。

特に「なぜその位置にマッピングしたのか」を、聞く人にわかるように説明するよう促し、「どの程度容認/否定と考えているのか」など、位置に着目して説明できるよう支援する。

グループワークの前後で自分の考えがどう変わったか、根拠と合わせてまとめさせる。